水稲用後期除草剤

トドメMF®

1キロ粒剤・乳剤

ノビエは、もう枯れている。

メタミホップ配合

高葉齢のノビエに！

［トドメMF乳剤］
ノビエ7葉期に
適用拡大

®は科研製薬（株）の登録商標

科研製薬株式会社

水稲用後期除草剤

トドメMF®

1キロ粒剤・乳剤

メタミホップ配合

高葉齢のノビエに！

[トドメMF 1キロ粒剤]　農林水産省登録 第23958号
成分 メタミホップ……1.35%

[トドメMF 乳剤]　農林水産省登録 第23959号
成分 メタミホップ……4.9%

人畜毒性：普通物（1キロ粒剤・乳剤）※
※「毒物及び劇物取締法」（厚生労働省）に基づく特定毒物、毒物、劇物の指定を受けない物質を示す。

特長

1. 高葉齢のノビエに高い効果を示します。（1キロ粒剤：ノビエ5葉期、乳剤：ノビエ7葉期）。
2. 2週間程度の土壌処理効果（残効性）を示します。
3. 除草効果の発現が早く、枯れ上がりに優れます。
4. 水稲に対し高い安全性があります。
5. 乳剤は展着剤不要で、また耐雨性にも優れます。

■1キロ粒剤の適用雑草と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	メタミホップを含む農薬の総使用回数
移植水稲	ノビエ	移植後14日～ノビエ5葉期まで 但し、収穫50日前まで	1kg/10a	3回以内	湛水散布	3回以内（乳剤は2回以内）

■乳剤の適用雑草と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	メタミホップを含む農薬の総使用回数
			薬量	希釈水量			
移植水稲	ノビエ	移植後14日～ノビエ7葉期まで 但し、収穫50日前まで	200mℓ/10a	100ℓ/10a	2回以内	湛水散布又は落水散布	3回以内（乳剤は2回以内）

⚠効果・薬害等の注意事項（1キロ粒剤）

- 本剤はノビエの5葉期まで有効なので、時期を失しないように散布すること。
- 苗の植え付けが均一になるように、整地、代かきはていねいに行い、ワラくずなどの浮遊物はできるだけ取り除くこと。また、未熟有機物を施用した場合は、特にていねいに行うこと。
- 散布に当たっては、水の出入りを止めて湛水状態のまま本剤を田面に均一に散布し、散布後少なくとも3～4日間は通常の湛水状態（水深3～5 cm程度）を保ち、田面を露出させたり、水を切らしたりしないように注意し、また、散布後7日間は落水、かけ流しはしないこと。
- 藻類又は表層はく離の発生しやすい水田では、有効な剤と組み合わせて使用する。

⚠効果・薬害等の注意事項（乳剤）

- 本剤はノビエの7葉期まで有効なので、時期を失しないように散布すること。
- 散布液は所定の濃度に調製し、使いきること。
- 散布する際はまきむらのないように均一に散布すること。
- 湛水条件で散布する場合は、水の出入りを止めて湛水のまま均一に雑草茎葉散布又は全面散布し、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態（水深3～5 cm程度）を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないこと。
- 周辺作物（特にイネ科作物）に対して、薬害を生じるおそれがあるので、飛散しないように注意して散布すること。また、散布田の水田水をこれら作物に灌水しないようにすること。

⚠効果・薬害等の注意事項（1キロ粒剤・乳剤共通）

- 広葉雑草には効果がないので、広葉雑草が混在する圃場ではそれらに有効な剤と組み合わせて使用すること。
- 以下の水田では初期生育の抑制を生じるおそれがあるので使用をさけること。
  1）砂質土壌の水田及び漏水田（減水深2 cm/日以上）
  2）軟弱徒長苗を移植した水田
  3）極端な浅植や深植をした水田
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合や異常気象時は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

●使用前にはラベルをよく読んで下さい。●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。

この資料は2018年3月14日現在の登録内容に基づいたものです。

科研製薬株式会社
東京都文京区本駒込2丁目28-8
http://www.kaken.co.jp/

TMG-EC/INF/002